

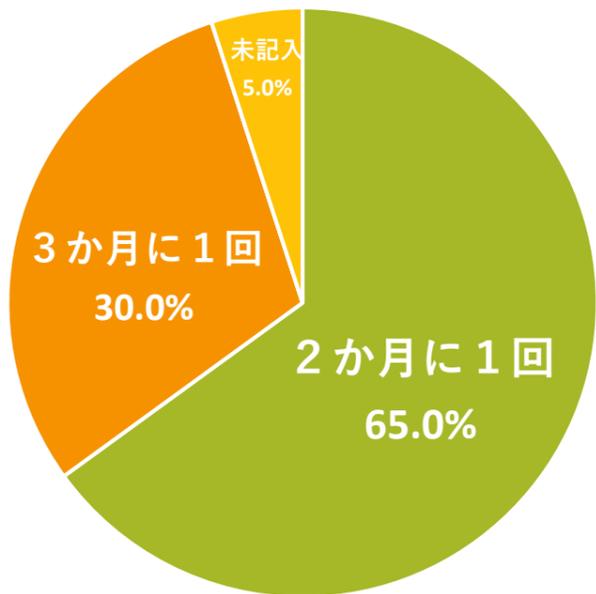
令和5年度 神奈川区保健活動推進員会 活動状況に関するアンケート 調査結果 (区会長会の持ち方について)

令和6年3月27日 福祉保健課

令和6年1月30日～2月29日に神奈川区保健活動推進員を対象とした活動状況に関するアンケートを実施しました。
会長への配布数：21枚、回収数：20枚（回収率95%）
各地区会長に回答いただいた、区会長会の持ち方について結果をまとめました。
(他の項目は後日改めてご報告します。)

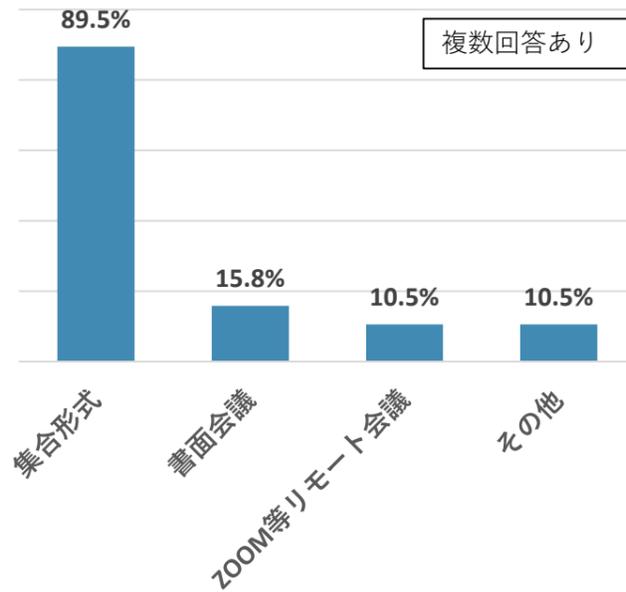
希望する開催頻度・開催方法

Point1 最も多かった希望開催頻度は
2か月ごと、次に3か月ごと



区会長会の希望開催頻度は「2か月に1回」が最も多かったです。
次に「3か月に1回」が多く、回答はこのどちらかに二極化していました。

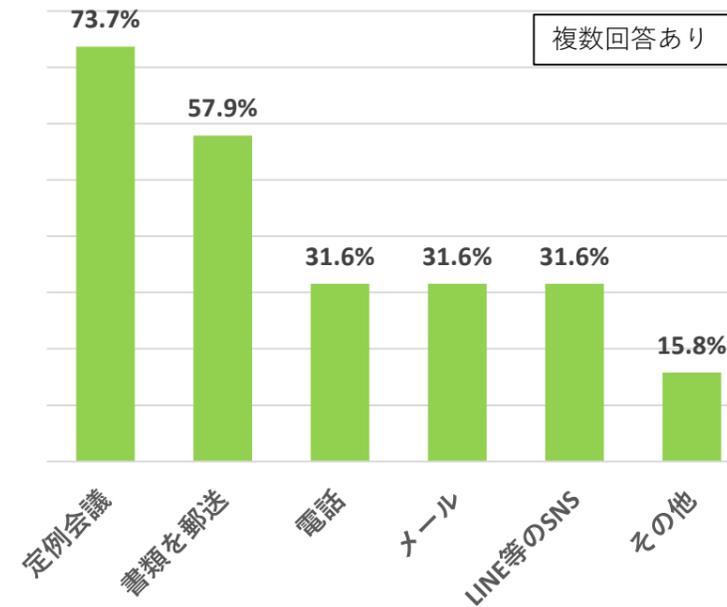
Point2 集合形式や書面会議での
開催希望が多い



区会長会の希望開催方法は「集合形式」が最も多く、次に「書面会議」が多かったです。
方法を組み合わせた開催を希望される方もみられました。

会長から地区の推進員への情報提供方法

Point3 定例会議や書類郵送での情報提供が多いが、
方法は多岐にわたる



地区の保健活動推進員への情報提供方法について、「定例会議」が最も多く、次に「書類を郵送」となっていました。
その他、「電話」、「メール」、「LINE等のSNS」を活用した情報提供も行われています。
また、「その他」として「訪問して直接伝えている」との回答もありました。
情報提供方法は多岐にわたっており、地区の実情に合わせて工夫していることが伺えました。

区会長会についてのご意見

<会議について>

- ・若い人でも会議の参加が負担とならないように、土曜日開催も考慮したらどうか。
- ・委嘱委員の会議は平日昼間の開催が多く、就労している方に役員になってもらう事が困難。
- ・開催時間は従来通りで良い。午後の会議にしているのだから。
- ・会議は14:00～15:30の時間が良い。
- ・会議資料が多い。パワーポイント等を使っての説明でも良いと思う。
- ・地区の行事も重なってしまうと、会議に負担を感じる。

<グループワーク・研修について>

- ・現在のディスカッション形式は良い。他の地区の活動等を聞けるので勉強になる。
- ・グループワークが各会長の苦労話を聞くだけになりがち。
- ・地区活動の自慢や上手くいった取組例等の交換の場になると気分も明るくなるのでは。
- ・グループメンバーが固定化しているので、色々な地区から活動の状況を聞きたい。
- ・保健師によるミニ研修は有用。
- ・ミニ研修の内容を地区の定例会で伝えるのが難しい。テーマごとに簡単なレジュメやDVD等にすると情報を共有しやすい。

<その他>

- ・各々の地区が現況や今後について話し合い、保活の在り方を見直す時期にあると思われる。
- ・保活1年目で手探りでやっているところであり、学ばせていただいている。